

新型コロナウイルス対策（感染予防・拡散防止）について

新型コロナウイルスの長期化が懸念される中、当社では、上記の対応指針を策定しています。

従業員の健康を最優先とし、従業員が感染しないことだけでなく、社外においても、従業員家族・近隣者・お取引先様ほか、関係者も感染しない、また感染させないよう、最善を尽くすよう、対策を実施しております。

お取引先様におかれましては、ご不便をおかけしておりますが、ご協力をお願いします。

1. 感染予防の対策について

①個人の健康管理の徹底

入社時の体温の測定・記録を行い、発熱（37.5℃）以上・強いだるさ・息苦しさなどの症状が見られた場合は自宅待機としています。

②手洗い・マスク着用うがい等の徹底

当社に出入りするすべての方を対象に、来社時のアルコール消毒・マスクの着用を必須としています。

③社内の消毒・換気の実施

接触部・トイレ等の消毒と、定期的な換気の時間を設けております。

④時差通勤・在宅勤務の推奨

最大1時間半の時差通勤と部署内での接触も控えるため、在宅勤務も行なっています。

⑤事業所間移動見合わせと会議のオンライン化、及びお取引先様との対面商談（出張含む）の自粛・制限

不要不急な移動を避け、社内外共に、オンラインシステム活用にご協力をお願いします。

2. 新型コロナウイルス感染症発生時の患者、濃厚接触者への対応

家族で感染の疑いが生じた場合や、社員が濃厚接触者と思われる場合には、14日間出勤を停止し、健康観察・自宅待機となります。

3. 業務の継続について

(1) 感染者・濃厚接触者が発生した場合

①事業の継続に支障をきたさないよう、体制を整えております。

②各部署で発生した場合には、消毒日を設け、消毒後、社員は在宅勤務・時差出勤・残業での対応等、社員同士の接触を控えての業務体制となります。

(2) 非常事態宣言が出された場合

食品メーカーの使命も鑑み、操業停止とならないよう、外出自粛の中で、最低限の人員でも製品の製造・出荷ができるような体制を準備しております。

上記の詳細は、「新型コロナウイルス対策ガイドライン」を策定し、各フェーズに応じての対策の詳細を定めております。

更なる不測の事態においては、社長以下、経営管理部門・品質保証部門など関連部署での主導のもと、迅速に対応する体制を整えてまいります。